

時刻によるリスクの変化（案）

項目	リスクの増大要因等
滞留者の有無	
就業者	・早朝・夜間・休日は人数が0のため、オフィスの復旧・業務継続体制の構築に時間を要する
就業者(防災担当者)	・早朝・夜間・休日は人数が少ないため、避難者・帰宅困難者・負傷者等の対応が遅れる
自治体職員	・早朝・夜間・休日は人数が0のため、オフィスの復旧・業務継続体制の構築に時間を要する
自治体職員(防災担当者)	・早朝・夜間・休日は人数が少ないため、避難者・帰宅困難者・負傷者等の対応が遅れる
来街者(就業者以外のオフィス利用者)	・昼から夕方に人数が多いため、避難者・帰宅困難者・負傷者が増加する ・早朝・夜間・休日は人数が少ない
来街者(就業者以外の商業施設利用者)	・昼から夕方に人数が多いため、避難者・帰宅困難者・負傷者が増加する ・早朝・夜間は人数が少ない ・休日は人数が多い
非常時対応者(商業施設、複合ビル等)	・早朝・夜間は人数が0のため、避難者・帰宅困難者・負傷者等の対応が困難 ・複合ビルは休日にも人数が少ないため、避難者・帰宅困難者・負傷者等の対応が遅れる
駅の利用者	・朝・夕方ラッシュ時に人数が多いため、避難者・帰宅困難者・負傷者が増加する ・早朝・夜間は人数が0
非常時対応者(駅・ホテル等)	・早朝・夜間・休日は人数が少ないため、避難者・帰宅困難者・負傷者等の対応が遅れる ・早朝・夜間・休日を含め24時間常駐している
被災状況の確認	・早朝・夜間は被災状況を確認できない(視認できない)ため、被災状況の把握に時間を要する
避難路の確認	・早朝・夜間は避難路が確認できないため、避難者の錯綜が起きる(但し、早朝・夜間は避難者が少ない)
建物の安全性確認	・早朝・夜間・休日は検査員が少ないため、対応が遅れる
エレベータの閉じ込め	・早朝・夜間は検査員が少ないため、対応が遅れる
火災の発生	・朝・昼・夕方(食事時)は火気器具利用が多く、出火数が多くなる(夕方が最大)